



海草支部

和歌山市支部

那賀支部

伊都支部

有田支部

第3

紀州さんぽ散珠つなぎ

日高支部

田辺支部

串本支部

新宮支部

「井戸水の話・猫の駅長たま」

今回、和歌山市支部よりバトンを受け、那賀支部からは井戸水に纏わる話と、全国的に有名になった貴志川線貴志駅の猫の駅長たまの話題を取り上げます。

昔から、この那賀地方(今は紀の川市・岩出市)は和歌山県の穀倉地帯と言われ、温暖な気候と豊富な水に恵まれて来た地域です。

良質な地下水にも恵まれ、岩出、打田、粉河地域では昔から造り酒屋が多く発達した所でも有ります。

また紀の川市には、今でもこの水を生活用水として活用した井戸が多数あり、全国名水百選Ⅱにも取り上げられた花野(打田)の弘法の井戸や東野(粉河)のお大師さんの井戸など諸国行脚の弘法大師に纏わる由緒ある井戸も存在しています。

その中でも、粉河寺の門前町として栄えた旧粉河町の本町通り(別称、とんまか通り)周辺は古くから酒造り、酢造りが盛んな所で、粉河酢としても古い歴史を持っています。

また、通りに面した桃谷順天館の創業者でもある桃谷政次郎氏旧邸内にある井戸や、周辺には沢山の共同井戸もあり、古くからこの良質の水を使った産業も発達した地域でも有ります。

それからもう一つの話、たま駅長、みなさんご存知ですか。

多分、日本で今一番有名な駅長だと思いますが、その駅長さんが和歌山電鉄の貴志駅にいます。

雌の三毛猫のたまちゃん。会社から正式な辞令を受け、社員として毎日働いています。

主な業務は客招きで、会社で唯一の女性管理職「スーパー駅長」です。

TVや新聞などで紹介されてから、たま駅長目当ての乗客が日本全国から貴志駅を訪れるようになり、県への経済波及効果が11億円に達したとの研究結果も出ています。

その功績が認められ、先日県知事から「県勲功爵(わかやまでナイト)」の称号も贈られました。

そのたまちゃんを一目見ようと貴志駅へ。

小さな駅構内には15人ほどのたま駅長目当てのお客さんがいました。

母親のミーコ助役はぐっすりお昼寝。同居のちび助役は残念ながら病気で休職中でしたが、たま駅長はたくさんのギャラリーに見られながらも駅長室で悠々と毛づくろいをしていました。

きれいな毛並み、堂々とした風格、かわいい仕草にかわいい顔。

人気者になるのもわかります。

是非皆さんもかわいいたま駅長に会いに来てみませんか。

那賀支部 金岡由憲・隅谷智恵美

